



ときわコミュニティ・スクール

森町立 森中学校 学校だより ～9月号～



自律 (じりつ)

R7. 9.11

よりよい森中を目指して



1 学期末には学校教育アンケートへの御協力ありがとうございました。以下は、その②の数値結果です。昨年度は、「そう思う」の数値のみをお知らせしていましたが、今年度からは「ややそう思う」「そう思う」の数値の合計を表記しています。ただし、グランドデザインの評価項目については昨年度との比較のために「そう思う」だけの回答結果を（ ）内にも示しました。☆グランドデザインの評価項目
◎森町共通項目 ○小中共通項目 ※グランドデザインの数値目標の達成（青）未達成（赤）

項目		R7 7月			R6 12月		
		生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員
全体	学校が目指している生徒の姿や教育内容について知っている		87			80.0	
	職員は、生徒のことを理解して生活面の指導にあたっている		93.4			91.0	
	職員は、きめ細やかに学習面の支援・指導をしている		90.4			87.0	
	森中は、生徒や保護者、地域から信頼される学校になっている		88			90.0	
	家庭で学校の話をする	82.4	80.7		81.0	78.0	
学習	授業の内容がわかっている【◎○】	90.0	64.5	68.4	85.0	54.0	83.0
	意見を交流する場面で、自分の考えを伝えている【☆○】	90 (52.9)		84.2 (21.1)	54 (28.8)		93 (37.5)
	先生や友達の話をも自分の考えと比較しながら聞くことができる【○】 ※人の話を聞くことができる（保護者）	90.5	84.9	73.7	81.0	83.0	87.0
	家庭学習の内容や量を意識して、取り組んでいる	73.5	61.4	52.6	87.0	54.0	31.0
	良い本に出会うことができた【○】 ※朝読書に集中して取り組んでいる（教員）	74.1	30.1	89.4	73.0	30.0	50.0
	意見を交流する場面が、新たな考えを持つこと、気づきを得ること、納得することのいずれかにつながっている【☆】	94.7 (47.1)		78.9 (15.8)			
	英語の授業にすすんで参加している【◎】	94.1			93.0		
生活	正しい生活習慣（生活リズム・感染症予防対策）が身に付いている【○】	80.1	75.9	63.2	83.0	74.0	68.0
	マナー（挨拶や礼儀、公共の場にふさわしい過ごし方等）を意識して生活している【☆○】	95.8 (65.9)	94 (28.3)	63.1 (1)	97 (55.6)	89 (21.1)	81 (12.5)
	学校や社会のルールを守って生活している【○】	97.0	94.0	57.9	97.0	92.0	68.0
	学校が楽しいと感じている【◎○】	92.9	89.2	94.7	90.0	83.0	100.0
	学校に相談できる人（職員・友達・カウンセラー等）がいる【○】	94.7		94.7	92.0		87.0
	他者の良さを見つけることができる【☆○】	97 (68.8)	94 (28.3)	57.9 (15.8)	95 (62.7)	91	87.0
特別活動	森プロジェクトに協力している【☆○】	92.3 (54.1)		94.7 (36.8)			
	学級での自分の役割を果たしている【☆○】	97.6 (61.8)		94.7 (15.8)	89 (44)		75 (19)
	今の自分を見つめ、成長しようと生活を送っている【○】	92.9	80.1	73.7	89.0	75.0	75.0
	ボランティア活動や地域の行事に進んで参加している	67.6	54.8	89.4	64.0	54.0	87.0
PTA	PTA活動スローガン・実践事項を意識して、お子さんと生活を送っている。（送った）		60			69.0	
CS	学校は地域と連携し、授業支援、環境整備、読み聞かせやときわ地域交流コンサートの企画など、教育活動の充実化を図り、魅力のある学校づくりを推進している。	97	95	100			

生徒が友達と意見を交流できるような場面に授業の中で多く設定することで、自分の考えを伝えたり、友達の話を知ったりできるようになってきました。今後も意図的に話し合い活動を設定し、意見交流することで深い学びにつながるよう指導していきます。一方で、家庭学習については課題が残ります。教員から与えられた課題や宿題はもちろんのこと、授業内容の定着に必要な家庭学習を自分で考え実践することが学びの調整にもつながっていますので、今後も様々な学習方法を紹介し、自分に合った学習の質や量を考え、実践していくよう支援していきます。学校経営目標「自律」に向け、2学期は「挑戦・深化」をテーマに、互いに励まし合いながら様々なことに挑戦し「自らの成長」「集団としての成長」を目指していきます。



全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組

4月14,17日に3年生を対象に、全国学力・学習状況調査（国語科・数学科・理科・日常生活や学習に関する質問）を実施しました。以下に、全国・静岡県との比較や本校の結果と傾向、今後の取組についてお知らせします。



平均正答率	国 語 科	数 学 科	理科(平均正答数)
全 国	54.3	48.3	2.9 / 6 問
静岡県	56.0	51.0	3.1 / 6 問
本 校	▼全国平均を下回っている	▼全国平均を下回っている	▼全国平均を下回っている

	主 な 傾 向 (良い表れ○・課題◆)	主 な 今 後 の 取 組
共通	◆漢字や計算等の基礎・基本に課題があります。 ◆問われている内容を問題文から読み取れず、間違った解答をしてしまう生徒が目立ちました。	・知識を定着させるために反復することが必要になります。生徒が内容に関連づけて確認（特に計算や方程式、因数分解では小テスト）できるよう授業改善を図ります。
国語科	○目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができています。 ○登場人物がどのような性格の人物として設定されているかを捉えることができています。 ◆自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題があります。 ◆文章の展開について、その効果と理由を、根拠を明確にして書くことに課題があります。	・設問の条件を整理することと構成を意識して書く練習を取り入れます。 ・自分の考えを具体的に書くことが苦手な生徒が多いので、日頃の日記指導や、授業の振り返り記入の指導などを丁寧に行います。 ・知識にあたる内容（文法や表現技法など）の復習を授業に取り入れます。
数学科	○関数におけるxとyの変化の仕方について理解しています。 ○確率の概念を正しく理解し解答できる生徒が多くいました。 ◆素数を正しく理解していない生徒が多くいました。 ◆約分することを忘れてしまう生徒が多くいました。 ◆具体的に数字を挙げて説明する場合に、どの数字を使えばいいかが分からず論理的に説明することに苦手さを感じています。 ◆証明問題を解く際に、平行四辺形となるための条件が十分に定着していない生徒がいました。	・基本的な計算技能を高められるよう、授業において継続して計算練習を行います。 ・基本的な知識（言葉の意味、どのような性質をもっているか）を繰り返し授業で確認します。 ・証明を空欄補充問題などで解きやすくし、証明の形式を定着させます。
理科	○単純な用語を答える問題に対して多くの生徒が正しく解答できています。 ○生物分野を得意とする生徒が多くいます。 ◆思考問題に対して苦手意識があり、無回答が目立ちました。 ◆計算問題が入ると、思考を止めてしまう生徒が目立ちました。 ◆覚えた知識を活用生徒が多くいます。例) イオンを覚えても、化学式を正しく作ることができない。	・生徒から出た疑問を授業の課題にしたり、日常生活でよく目にする現象を教材としたりと、生徒が自分事として思考しやすくなるような授業展開を心掛けます。 ・生徒に実験方法を考えさせたり、因果関係を大切に考察させたりと、生徒の科学的な思考を促すことができるようなアプローチをします。
生活・学習状況調査	○全国平均より上回った主な項目 「自分にはよいところがある」 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」 「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」「友達や周りの人の考えを大切に、協力しながら課題の解決に取り組んでいる」 ◆全国平均より下回った主な項目 「地域や社会をよりよくするために何かしてみたい」 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」 「将来の夢や目標をもっている」「友達関係に満足している」 「平日、土日の家庭学習時間」「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」	・様々な場面における話し合い活動を通じて、色々な意見に触れたり、新たな考えに気付いたりするなど、授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができるよう、課題に向かう姿勢を育てます。 ・道徳の授業だけでなく、様々な場面においていじめについて考える時間を設け、学校としていじめを許さない雰囲気を作ります。 ・ボランティア活動に参加したり、地域や学校で様々な方と触れ合ったりすることで、地域とともにある学校をめざします。 ・家庭学習の時間や内容に関する項目は、全国平均より大きく下回る結果となりました。家庭学習の質や量に意識して取り組めるよう支援していきます。

【森中全体の取組と御家庭へのお願い】

森中学校では、今回の調査結果を受け、学習においては全教科の教科担任で課題を把握し、「身に付けさせたい力」に繋がる学習活動を、全ての教科の可能な単元で行うなど、学力向上に向けて取り組んでいきます。生徒の挑戦心・自己有用感につなげていけるよう、生徒一人一人の良さを褒め、認め、励まし合いながら、全職員で支援していきます。学力向上には、「学習の量」「学習の質」が大切です。学校においては、全校体制で授業改善を推進するとともに、家庭学習の習慣が確立されるよう、授業と関連付けた課題を提示したり、家庭学習の方法について示したりしていきます。御家庭においては、お子様のやる気を育てる環境づくり、望ましい生活習慣の定着など、励ましと見届けをお願いします。